

心豊かな大人に

コミュニケーション教室

コミュニケーションを学び心豊かな人間成長の機会となつてほしいという思いから、有限会社サイテック（齊藤伸英取締役社長）が主催する「コミュニケーション教室」が、6月2日に六郷小学校で行われ、同校6年生41名が参加しました。当日は、劇団わらび座の団員を講師に招き、2人1組となって新聞紙やペアの人の動きに合わせるゲームやお題に対して答えが同じ人を探して集まるゲームなどが行われ、最後は2チームに分かれてそれぞれの円陣を披露して締めくくりました。会場では盛んにコミュニケーションを取る児童たちの姿が見られました。



ラベンダーの剪定作業を実施

JAL地域貢献活動 in MISATO

美郷町と連携協力協定を結ぶ日本航空株式会社による「JAL地域貢献活動 in MISATO」が6月8日に美郷町ラベンダー園で行われ、秋田支店や秋田空港、ふるさと応援隊の職員合わせて12名が来町しました。今回も連携協力協定に基づき、地域貢献活動の一環としてラベンダーの剪定作業が行われました。当日は、ラベンダーの栽培管理を行っている株式会社美郷の大地の職員に教わりながら、枯れている枝を一つ一つ丁寧に切り落としました。

いつまでも“いきいき”元気に

美郷いきいき大学

今年度初回となる「美郷いきいき大学」が6月8日に美郷町公民館で開催され、72名が受講しました。当日は、美郷交番所長・伊藤憲昭氏が「詐欺被害防止について」と題して講演し、高齢者安全・安心アドバイザーや美郷南駐在所の職員を交えた寸劇も行われました。ユーモアあふれるセリフや動きに会場は笑いの渦に包まれました。また、本講義を通算90回受講された菊田キエさん（石神）に「プラチナ・ドクター」の称号が授与されました。



水の大切さを学ぶ

七滝「水の森」植樹事業

「七滝『水の森』植樹事業」が6月15日に六郷東根地区の七滝山で行われ、町内の各小学校4年生や町議会議員、秋田県仙北地域振興局の職員など合わせて167名が参加し、ブナの苗木120本を植樹しました。仙北東森林組合の職員に植樹のお手本を見せてもらい、その後児童たちが植樹を行いました。戸惑いながらも協力し合つて苗木を植樹する児童たちの姿が見られました。



MISATOPICS

町の話



阿部雅龍氏が表敬訪問

昨年度美郷カレッジの講師を務め、前人未踏の「白瀬ルート」での南極点到達を目指しているプロ冒険家・阿部雅龍氏が6月10日に松田町長を表敬訪問しました。

阿部氏が「前回の南極冒険は失敗に終わったが、その経験を生かして11月に再挑戦します」と決意を伝えると、松田町長は「諦めなければ決して失敗ではなくて、最後に到達するまでのプロセス。11月からの南極チャレンジの成功を祈っています」と声を掛けました。今後のさらなる活躍を期待します。



どそこにある訳ですが、先日は某局の連続テレビ小説で出会いました。出演俳優の鶴太郎さんが話された言葉。「迷ったら入口に戻ればいい」。んん、深い言葉です。ずっと心に残って

います。さすがです。こうした啓発を受ける言葉は

「未来を考えない者に未来はない」。平易な言葉で核心を突いています。さすがです。

町ではこれまで、学友館特別

展を毎年開催してきておりますが、取り組みの核心は、そこにおいて何か啓発を受ける機会があること、何か意識を磨く場があること、地味に見えますがとても大切なことではないかと私は思います。その観点で、私は今後も学友館特別展の取り組み、大切にしていきたいと考えております。というところで、今年度の第一弾「大川清一 北東北山々の輝き」展、秋田魁新報社様の特別協賛を得て、今月末から開催します。多くの方々にご覧いただきたいと思っております。

やはり日常生活の中には、大きい小さいは別にして、「啓発を受ける」機会、そして何かを感じる意識、大切ではないかと思

います。このドラマ、もともとストーリーが面白く毎日見えますが、それ以降は役者さんの台詞にも意識を払って見ています。脚本家のメッセージ力、素晴らしいです。

啓発の機会

COLUMN WINDS

コラム

風

美郷町長
松田知己



▲チャレンジデー2022のオープニングセレモニーであいさつをする松田町長

写真家カメラを通じて捉えたもの、時に感動、時に畏敬、時に祈りなどを意識しつつ、作品が放つあらゆる矢を受け止めていただき、何らかの啓発の機会になることを心より期待しております。